



知っておきたい「老いじたく」



生前準備の大切さ～遺言について



最近、「終活」という言葉をよく聞きます。終活の内容は、人それぞれですが、自分の「人生のまとめ」を行って、残された人生を自分らしく生きるための、新たな出発点ではないかと思います。家族へ残したいこと、伝えたいことはたくさんありますが、その中の財産関係について考えてみましょう。

「相続」とは、亡くなった人の財産を引き継ぐことです。相続を円滑に進めるには、様々なルールを踏まえて必要な手続きを行わなければなりません。残念なことに、家族間で揉めることもあります。そこで一つの方法として、自分が元気な時（判断能力が確かな時）に、生前に遺言書を書いておくことをお勧めします。遺言書は、一般には「自筆証書遺言」と「公正証書遺言」があります。紙面の都合で詳しくは述べられませんが、それぞれにメリット・デメリットがあります。



遺言書を残すことは、自分が亡き後、残された家族への負担軽減と、揉め事を防ぐことにもなり、終活の大きな目的の一つです。しかし遺言や相続はなかなか理解しにくいものですが、法律的な事は、正しく表現して書き残し、確実に実行されることが大事です。

当センターの講座では、高齢者の日常生活の安心を守るために、「遺言」・「相続」・「成年後見」・「消費者問題」など、行政書士であるコーディネーターが、自治会や公民館に出かけて出前講座を行います。ぜひ、当支援センターにお気軽にお問い合わせください。



ボランティアさん募集中!



 **サークル活動にとどまらず、発表の場として**
 **得意なことを披露して、お役に立ちたい方**

例えば・・・ フラダンス・コーラス・演奏・手品など「うめ ♣ さろん」に登録していただくと、発表の訪問先をご案内できます。ぜひ一度お越しください!



よろしく
お願いします

「うめ ♣ さろん」に登録している皆さま!

登録内容確認のために、登録団体様には、「掲載内容調査用紙」を、個人ボランティアの方には、「個人ボランティア登録申込書」を4月に配布しておりますが、返信いただけましたでしょうか?どちらも、締め切りが5月末日になっておりますので、返信がまだでしたら、よろしく願いいたします。すでにご返信済みの方は、ご協力ありがとうございました。

募金箱を開けてみたら...

東日本大震災後から、センターにあった募金箱を、震災から3年たった今、開けました。以前、当センター前の公衆電話が壊れているから...と電話を借りに来られたご婦人が、「どうしても...」と電話代として募金されたこともありました。財布の中の小銭を入れて行かれたボランティアの方、どのように復興して行くのかも想像できない時期に「せめて...」とお札を入れられた方。合計18,130円ありました。ありがとうございます。このお金は「東日本大震災・現地NPO 応援基金」に寄付させていただきます。



講座スケジュール

日時	場所	講座名	講師など	参加費
6/14(土) 14:00~16:00	206・ 207号室	カウンセリング基礎講座 「自分を伝えよう」	吉田 久美子	100円
6/21(土) 14:00~16:00	209号室	みんなで学ぶ「防災講座」 「視覚障がい者や車イスの要援護者 への対応実技」	太宰府市社会福祉協議会	無料
7/12(土) 14:00~16:30	201号室	コーディネーター育成講座・老い学 「老いの構造とつきあい方」	松澤 秀樹	100円
7/13(日) 13:00~16:00	208号室	ライフサポート あんしん講座 「高齢者施設の種類とその選び方」	行政書士 伊藤 雅代	無料
7/19(土) 9:30~12:30	多目的 ホール	みんなで学ぶ「防災講座」 「救急救命講習(応急手当)」	消防署	無料
7/24(木) 13:00~16:00	205・ 206号室	子ども環境講座 「マイエコバッグを作ろう」	ハッピーフレンズ 泉 美峰	200円

他市町村のセンターを見学してきました！

昨年、宇美町ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」と、那珂川町ボランティア支援センター「くるりんぼ」に、そして今年5月末には糸島市NPO・ボランティアセンター「こらぼ糸島」の施設見学に行ってきました。どのセンターにも、参考になる利用方法や活動・講座・備品などがいっぱい！限りはありますが、当センター「うめ❀さろん」でも、改善できる点はどんどん取り入れて行く予定です。行き届かない点もありますが、これからも成長していく「うめ❀さろん」にご期待下さい！！

申し込み・問い合わせは 「うめ❀さろん」太宰府市NPO・ボランティア支援センターまで

太宰府市五条3丁目1番1号 いきいき情報センター 1階

平日 10:00~18:00 土曜日 12:00~18:00

(休業日 毎週日曜日、祝日、毎月最終水曜日、

8月13日~15日、12月28日~1月4日)

電話 092-918-3633 ファックス 092-918-3644

E-mail: dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

HP: <http://dazaifu-volusen.sakura.ne.jp/>



団体紹介

太宰府紙飛行機クラブ



太宰府紙飛行機クラブは、大空にロマンを求めて自然を見つめ、紙飛行機を通して老若男女を問わず親睦を図り、科学する心を養い健康と交流を深める趣味の会です。

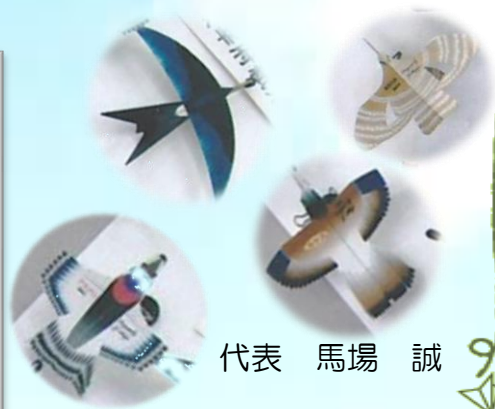
現在は退職したメンバーを中心に 8 人で活動しています。様々な職種の人たちの集まりですが、元大工さんの手先の器用さはピカイチです。



紙飛行機は各々で設計して作ります。紙は基本的に「日本紙飛行機協会」で規定されているものを使用しますが、高価なので似ている材質の紙を使用しています。紙飛行機の形は千変万化いろいろです。同じ飛行機でも、羽根の具合や風の具合で飛び方が変わります。片方の羽根に風の抵抗を受けるように手を加えたり、羽根の表面をさすったりして飛び方を調整します。二度と同じ飛び方をしないところが魅力です。なかなか奥が深く、羽根の調整具合などの技術を習得するのが難しくもあり、おもしろいところです。



現在は人に当たったら危険！ということで、なかなか飛ばすことができないのが現状ですが、依頼があったときに飛ばしたり、午前中の人の少ない時間に飛ばして人が増えてきたらやめる…など、気を配りながら少しだけ飛ばしています。体験された方からは、「楽しかったです！」「虜になりました！」「癒されました！」などのお手紙をいただき、嬉しく思っております。



代表 馬場 誠